

Soka UN news

創価大学ニュース 62号
2009年7月3日発行(年4回発行)

 **クイーンズ大学名誉博士号授与式**
The Queen's University of Belfast Honorary Graduation Ceremony
18 May 2009 



5月18日、創立者 池田大作先生に、英国・クイーンズ大学名誉博士号が授与されました。写真はスピーチする創立者。

特集1 卒業生の活躍

「建学の理念を胸に!」社会で活躍する卒業生

特集2 座談会

開学25年、新たな飛躍を期して第2章へ 創価女子短期大学

「建学の理念を胸に！」 社会で活躍する卒業生

Alumni play an active part in society with the Founding Principles of Soka University

日本のみならず世界中で活躍する卒業生。学生時代の誓いを胸に、社会で貢献し活躍している卒業生に、現在のことや創価大学で得たことなどについて語っていただきました。

毎日の積み重ねの上に成功がある！



ナイツ

塙 宣之 さん (経済学部1999年度卒業) / 土屋 伸之 さん (経済学部2000年度卒業)

Profile

はなわのふゆき (写真左)
龍谷高校から創価大学へ進学。卒業後マセキ芸能社へ入社。1978年生まれ、千葉県出身。
つちやのふゆき (写真右)
創価高校から創価大学へ進学。卒業後マセキ芸能社へ入社。1978年生まれ、東京都出身。

現在さまざまなバラエティ番組で活躍されているお二人ですが、学生時代はどのように過ごされていましたか？ また原点になっていることはありますか？

土屋: 学生時代は実家から大学に通っていて、2年生の秋ぐらいから落語研究会に入部しました。それ以来多くの方の支えのおかげで10年以上お笑いを続けてくることができました。学生時代は創立者と何度もお会いする機会がありました。現実の社会に出て本当に苦しい環境になった時、学生時代に受けた創立者からのさまざまな励ましの言葉がよみがえってきて、それをバネにがんばり続けることができました。

塙: 高校時代、母から進学をすすめられ創価大学のパンフレットを読みました。そこにはとても楽しそうにしている落語研究会の学生の姿が写っていました。その楽しそうな姿に魅了され、創価大学に行きたいと思うようになり、猛勉強の末、創価大学に入学しました。

大学では素晴らしい先輩や友人に囲まれて最高の学生生活を送ることができ、またこういう環境を作ってくれた創立者に心から感謝しました。

落語研究会の部長時代、このクラブの歴史を作ろうと真剣に挑戦し、大会での優勝、創友会総会で創立者の前でコントをするなど、大きな原点を作ることができました。

日々の芸能活動の中で、心がけていることはありますか？

土屋: 毎日の積み重ねの上に成功があるということを強く実感しています。何かのきっかけで大きく売れるのではないかと考えていたこともありますが、そうではなく、舞台を何百回と繰り返し、続けていく中で少しずつ前に進んできたのかなと思います。これはお笑いだけでなく、すべてのことに通じることだと思います。足もとのことが大切ですね。

塙: 学生時代、創立者から落語研究会に指針をいただきました。そこから「人のため」に活動することの大切さを教えていただきました。僕たちの仕事はお客様がいて初めて成り立つものなので、いつもそのことを意識して活動しています。

お笑い芸人の仕事はネタを作ることだと思います。それをやらないとお笑い芸人ではないと思います。だからどんな時もネタ作りだけは毎日やってきました。それも自分のためだけにやろうとする限界があるのですが、一人でも喜んでくださる人がいるのならと、勇気をふりしぼり、挑戦しています。

現役の学生、また創価大学・創価女子短期大学を目指しているメンバーへのメッセージをお願いします。

土屋: 人のために頑張ることが大切だと思います。

その時に、「火事場の馬鹿力」というか、本当の底力を発揮できるんだと思います。だから、創立者をはじめ自分を温かく見守ってくださる方や支えてくださっている方が、どうしたら喜ぶんだろうと考え、挑戦してほしいと思います。

塙: 創立者はいつも「皆さんの勝利を待っているよ」と言われます。だから何があっても踏ん張って、負けずに頑張ってください！

最後に今後の抱負を教えてください。

塙: これからも創価大学の卒業生として、日本一日指して頑張ります！ また、今自分がいる漫才協会を大きくするために尽力したいと思います。

土屋: 皆様が喜んでくださるよう、これからも頑張ります！

自分にできることを精一杯やろう！



2007年5月3日、ロッテ戦での復活の一打 (読売新聞タブロイドより)

小谷野 栄一 さん (法学部2002年度卒業)

Profile

こやのえいいち
創価高校から創価大学へ進学。2003年に日本ハムに入団。2005年一軍に昇格。2007年不振を克服し、一軍に復帰。三塁手、一塁手、外野手として活躍。礼儀正しく、人一倍の努力家として知られ、梨田監督には「ひたむきに一生懸命というところがいい」と評される。

創価高校2年生の春に念願の甲子園に出場しました。その後、創価大学に進んで硬式野球部に入部。2002年、ドラフトで日本ハムに入団しました。2005年、プロ入り3年目で1軍に昇格しましたが、翌2006年、けがによる成績不振などから練習もままならない状態に陥りました。

この1年は本当に辛い日々でした。ところが年が明けて、最初の自主トレは母校でというのがOBの伝統なのですが、3日にトレーニングセンターで練習をしていたときのことで。突然、創立者が来られて、僕たちの手を一人ひとり握って、「今を大切に」と温かく励ましの言葉をかけてくださいました。それで、そうだ、焦ることはない。今、自分にできることを精一杯やろうという気持ちになりました。

野球が好きだという初心に返り、もう一度頑張ろうと思ったその年、一軍復帰を果たし、5月3日のロッテ戦ではツーランホームランを放って(写真)チームの勝利に貢献することができました。

創価大学硬式野球部は、「人間野球」がモットーです。人間としての成長が何より大切だと教わりました。これからもこの精神を大切に、後に続く後輩のためにも、また、応援して下さっている多くのファンの方々のためにも、未来に向かって挑戦を続けたいと思います。

アカペラ甲子園で優勝！



Bam B Crew (バンビークルー)

加藤 祐基さん
(法学部2007年度卒業)

横山 一博さん
(法学部2007年度卒業)

中川 英樹さん
(法学部2007年度卒業)

柳 伸幸さん
(経済学部2007年度卒業)

池ノ内 正博さん
(工学部2007年度卒業)

江藤 祐大さん
(関西創価高校2003年度卒業、
日本獣医生命科学大学獣医学部6年在学)

Profile

フジテレビ主催、青春アカペラ甲子園 全国ハモネプリーグ第7回大会で見事優勝したBam B Crewのメンバー。今回が3度目の挑戦となり、大きなプレッシャーを跳ねのけ日本一に輝いた。

アカペラ甲子園初出場の際は、ベスト4の結果を出すことができ、僕たちとしては満足のいく結果でした。この結果がきっかけで、創立者の前で歌わせていただく機会がありました。歌い終わった後に「日本一、世界一」と声をかけていただき、嬉しい反面、ベスト4の結果しか残せなかったことに悔しい気持ちがありました。

そして、最後の挑戦として臨んだ3回目の全国大会は、創立者に「勝利のご報告をする」と全員で心を合わせて臨み、悲願の日本一をとることが出来ました。

現在、メンバーはそれぞれの目標である司法試験、司法書士試験など自分の道で勝利すべく、勉強・仕事に励んでいます。

現役の学生・受験生の皆さん、創価大学は「学生のための大学」であり、教職員をはじめ、施設、留学先など、学生をバックアップする環境が整っています。僕たちも、撮影の際に練習場所を確保してもらったりなど、大学にたくさん支えていただきました。皆さんが、創価大学で学び、社会で活躍することを願っています。最後に、大学の指針である「英知を磨くは何のため 君よ それを忘るるな」という言葉を忘れずに頑張ってください。僕たちも、後輩の道を少しでも拓いていけるように頑張ります。

庶民の幸福を守る、力ある法曹を目指して!

関西創価小学校から創価の庭で学び、建築学を学ぶため早稲田大学理工学部に進学。

しかし、就職活動で壁にぶつかり、希望どおりの職場の採用は決まらず、最終的には、自動車メーカーに就職しました。

就職して2年目のある日、「創価大学法科大学院開学」の記事が掲載されていました。新たな人材が必要とされていると感じた私は、会社を退職し、もう一度、自分の限界に挑戦して、弁護士になることを決意しました。

法科大学院では、良き教員、良き仲間恵まれ、最良の教育環境の中で、充実して勉学に取り組むことができました。

そして、平成19年9月に無事、司法試験に合格し、本年1月より弁護士の業務を開始しました。合格した際、創立者より「断じて正義と勝利の人生たれ」との言葉を頂戴し、私の人生の指針となりました。

弁護士としての業務は、経験したことのないことばかりで、毎日が自分との戦いの連続ですが、これまで育ててくださった創立者の御恩に報いるためにも、生涯をかけて、社会の悪とは徹して戦い、庶民の幸福を守る、力ある正義の法曹となって参ります。



大原 良明さん (法科大学院2006年度卒業)

Profile
関西創価小学校に入学し、高校まで創価の学び舎で育つ。卒業後は早稲田大学へ、自動車メーカー就職後、法科大学院へ進学。弁護士

栄光の1期生として、人間教育に挑戦!

「教育者として、人間教育を教えてくださいました創立者に御恩返しを」との誓いを胸に小学校教員として走り続けてきました。自身を見つめ、教育者としてもっと力をつけたいと決意した時、教職大学院が開設され、感謝の思いで受験をしました。

教職大学院1期の1年間は、自身を見つめるかけがえのない学びの日々でした。創立者に見守られ、これほどまでにとるほどこさんの激励を頂きました。教職員・仲間・家族・地域の方々に支えて頂きました。創立者との誓いを果たすために懸命に努力した時、思ってもみなかった力が出る、必ず全て開けるという事を再び教えて頂きました。

4月より、小学校に戻り4年生の担任・研究主任となりました。また市の学校図書館活用教育の指定を受けました。現実には厳しく、様々な課題に流されがちです。だからこそ教職大学院で学んだ、地道な子ども理解と教材研究の実践に挑戦しています。栄光の1期生としての使命と感謝を忘れず、自身を磨きます。そして自身の姿を通し創立者の人間教育を宣揚して参ります。



小泉 弘代さん (教職大学院2008年度卒業)

Profile
教育学部1989年度卒業、小学校教諭、研究主任

アジアの貧困撲滅のために日々奔走!

創価大学在学中は貧乏学生で苦学しながらも、公認会計士二次試験に合格。創立者への報恩のため、世界に通用する一流の会計士になろうと決意しました。卒業後、外資系会計事務所では会計・金融の最先端の実務に従事しながら、どこまでも貧しき庶民の味方である公認会計士に、との自身の原点に立ち返り転職を決意。ニューヨークにあった国際機関「朝鮮半島エネルギー開発機構(KEDO)」を経て、現在フィリピンに本部を置く「アジア開発銀行(ADB)」に勤務し、アジアの貧困撲滅の

ため毎日汗を流しています。担当はアフガニスタン、パキスタンという危険地域に加え、自由経済の揺籃段階にあるウズベキスタン、キルギスタン等の中央アジア各国。現地への出張、英語での講義、問題解決のための政府との会合など、開発現場のど真ん中で、いつも悩みとやりがいがいっぱいの毎日です。

今後も愛する母校と恩師への報恩のため、優秀な後輩が国連や国際開発金融機関等で世界平和・貧困撲滅のために貢献してゆけるよう、全力で道を拓いてゆきます。



帯刀 良信さん (経営学部1992年度卒業)

Profile
アジア開発銀行勤務、公認会計士

世界の平和に貢献できる人材に成長したい!



松本 光子さん
(アメリカ創価大学2005年卒業/創価大学30期生)

Profile
オックスフォード大学教育学部博士課程在学中

現在、私はイギリスのオックスフォード大学教育学部で博士課程に在学中です。研究テーマは、紛争と教育。西アフリカのシエラレオネを題に研究を進めております。

今の道に進む原点になったのは、創立者の「教育国連」の御構想を読み、教育が変われば、紛争・貧困に苦しむ人、また自分のように進路や将来に大きな不安を抱えている人を助けられるかもしれない、と深く感銘を受けたからでした。その後、アメリカ創価

大学(SUA)を受験し、合格。1期生として入学し、SUAでは、全体人間、また、地球市民としてかけがいのない基盤を築くことができました。

今の目標は、2010年の終わりまでに中身のある博士論文を仕上げることです。「大学は大学にいけなかった人のためにある」との創立者の言葉を胸に、筆の力で正義、世界平和のために論じ、貢献できる人材に成長していく決意です。

世界平和の架け橋に!安全運航の機長目指して!

ANAグループ エアーニッポン(株)にてボーイング737の副操縦士として国内線を乗務しています。

創価一貫教育の中で創立者と数々の原点を築かせて頂きました。その中でも夢に向かってがき苦しんでいた学生時代、創立者から頂いた「学は栄光の道なり」との人生の指針は一生の原点になりました。採用後の厳しい訓練においては、サッカー部で培った負けじ魂で乗り越えることが出

来ました。渾身の激励で支えてくださった創立者や先輩、友人への感謝の心で日々の乗務に臨んでいます。

一昨年より試験飛行担当操縦士に任命されました。普段の運航とは別に耐空検査、航空機の性能や機能の試験等を通し貴重な経験をさせていただいております。今後は国際線移行訓練も勝ち取り、世界の平和の架け橋となって、安全運航の一躍を担う機長を目指します。



三浦 貴弘さん (経営学部2001年度卒業)

Profile
ANAグループ エアーニッポン(株) ボーイング737副操縦士

開学25年、 新たな飛躍を期して第2章へ 創価女子短期大学

Soka Women's College's 25th Anniversary: Expecting greater progress in the next 25 years

創価女子短期大学は、本年開学25年を迎えました。8600名の卒業生は、日本の経済・産業界に幅広く進出するとともに、海外でもめざましい活躍を見せており、短大教育への評価は内外から高まりつつあります。

このたび新しく就任した石井秀明学長と短大生の代表にお集まりいただき、短大建設の第2章にかける意気込みや抱負、そして学生生活や未来にかける夢などを語っていただきました。

司会 まずは開学25年という節目に新学長となられた就任の抱負と、今後の短大のビジョンについて、お聞きしたいと思います。



石井 秀明 学長
創価女子短期大学学長、
副学長補を経て2009年4月より学長
に就任

石井 開学25年という大切な節目に学長という大任を拝し、大きな責任を感じています。創立者は、「女性の世紀」「平和の世紀」をリードしゆく聡明な女性リーダーを育成するために、本学を設立されました。その目標をさらに高く掲げて、新しい短大・第2章の歴史を築いていきたい。具体的には、いま一度創立の原点に立ち帰り、学生を中心に、学生を大切に、学生のために尽くすという創立者の精神を再確認して、学生の

無限の可能性を開いていける教育に取り組んでいきたい。そのために、短大全体の教育の質、教育力の向上を図っていききたい。2学科とも、これまでの良い点を踏まえながら、専門性と教養を身につける教育と、社会人として即戦力となる能力向上を目指す実践的な教育を充実させ、トータルな教育力の向上を図っていききたいですね。さらに教員も清新な息吹で力を合わせて進んでいきたい。「教師こそ最大の教育環境である」との創立者のお言葉を肝に銘じて日々向上し、学生に負けない情熱をもって、苦楽を共にする。日本の教育界の希望の星と輝く、日本一の短大を目指していきたい。これが私の決意でもあり、本学の大きな目標でもあります。

司会 新たな短大の出発ですね。では学生の皆さんにお聞きします。皆さんが短大を選んだ志望動機、そして入学して良かったことを教えてください。

島 姉二人も短大出身で、入学後、生き生きと変わっていったのを見て驚き、私もこの2年間を土台にして自分を変えたい、と思ったか

らです。良かったことは、1年次にSUA短期留学に参加でき徹して英語に挑戦したこと。この体験は貴重な財産となりました。

押金 キャンパスを訪れた時に、先輩たちの輝いている姿を見て衝撃を受け、私の来る場所はここだと実感しました。そして創立者の理想とされる女性に成長したいと決心しました。入学後は密度の濃い毎日を過ごしています。また小さなことに感謝できるようになって、自分でも大いに変ったと思います。

山本 尊敬する創立者のもとでぜひ学びたいと、入学を希望しました。短大は2年しかありませんが、自分をどんどん鍛え、磨き抜いて凝縮された日々を過ごし、支えてくれている人たちに成長した姿を見せて恩返ししたい。ここで強い女性、人々の幸せに貢献できる女性になりたいと願っています。入学して良かったことは、仲間がみんな頑張っているの、いい刺激を受けられるし、モチベーションも上がる。先生方も熱心で親切ですし、こんな素晴らしい環境にいられることは幸せだと、日々実感しています。

司会 皆さんがいま挑戦していることは何ですか。またそれは、将来の目標にどうつながっていますか。

島 執行委員長に立候補した時の決意が「短大建設」でしたから、いまはそれに尽きますね。短大生全員が、創立者のいわれる「幸福博士」になるにはどうしたらいいか、常に考えています。短大生700名全員が自分を変えていく心の変革が、そのまま短大建設につながるのだと思っています。将来は、教育に関わりたいですね。ここで学んだ創価教育を、地域に広めていきたいと思っています。

押金 私も学生会の役員として、一人ひとりが草創期の思いで短大建設を目指せるよう、その場所を提供



島 幸子さん
現代ビジネス学科 2年
学生会執行委員長

していききたいと思います。また個人としては、英語の習得が目標。将来は世界を舞台に、短大で学んだ力を活かし創立者の思想や哲学を人々に伝えていきたいと考えています。

山本 創立者が言われたように、寮は創価教育の生命線だと思いますので、全寮代表として、より良い寮運営を目指しています。寮はお互い切磋琢磨していける場であり、寮で学んだことを社会でも活かしていきたい。25期の妹たちが、より素晴らしい人材になれるように応援していきたい。将来は、人と関わる仕事がしたいと思っています。

司会 勉学面でレベルアップした体験があれば、挙げてください。



山本 麻由加さん
英語コミュニケーション学科 2年
全寮代表

山本 入学してTOEICを受けたら成績が良くなかったのですが、発奮して授業に一生懸命取り組み、1年の後期に200点上がって目標点に達し、自分でもびっくりです。英検2級と秘書検定2級にも合格。これから準1級に挑戦するつもりです。これも友人や先生方など、励みとなる環境のおかげだと思います。

押金 私は昔から数学が苦手だったのですが、いま簿記検定1級に挑戦中です。英語もSUA留学で好きになりました。ディスカッションが多くて自分の意見を求められましたし、ただ知識を得るだけでなく、吸収して外に発信する能力が大切だと実感できました。

島 本学は外国人教員の先生が多く、イングリッシュラウンジで留学生と話すこともできるなど、生きた英語に接する機会に恵まれています。英語は生きた言葉が大事だと気付いたのが、大きな収穫ですね。SUAで、先生から「君は耳がいいね」と褒められたのも自信につながりました。英語は苦手だったのですが、結果としてTOEICの成績もリスニング能力も向上しました。

司会 短大の良き伝統や学風など、後輩に伝えていきたいことは?

押金 短大で凄と思ったのは、姉妹の絆です。卒業生の「白鳥会」の集いに出席させていただいたのですが、姉が妹を思う気持ち、後輩のために頑張るといった気持ちが全てではないでしょうか。私も同じように、これから社会へ出た後も、妹たちのために尽くしていきたいですね。それが短大建設につながることもありますから。

山本 卒業しても一生涯、姉と妹の絆は続きます。これは短大の素晴らしい伝統であり、自分も将来、社会



押金 ひろ子さん
英語コミュニケーション学科 2年
学生会副執行委員長



で活躍できるリーダーになって、妹たちの道を切り開いていきたいですね。

島 私も白鳥会の集いで感動が大きかったですね。先輩たちが、どれだけ自分を支えてくれたのかと、よく分かりました。短大歌「誉れの青春」にこめられた創立者の理想を実現していくの、強い気持ち。これが一生継続していく短大生の精神であり、まっすぐな思いだと思います。開学25年は短大の未来が決まる節目であり、自分も2年間走り抜いて創立者の心を求めていきたいですね。

司会 なるほど。これまで積み上げてきた短大の就職実績の素晴らしさは、白鳥会、つまり卒業生の頑張りによるものですね。

石井 純粋に後輩のことを思い、創立者のご期待にお応えしようと頑張る。まさに世界一の姉妹の絆であり、短大の誇るべき伝統だと思います。社会に出て、ここでくじけたら後輩の道が途絶えてしまう、ゆえに断じて負けないことが、人類の幸福と世界の平和を築く一歩になるんだと——そうした思いを卒業生が持ち、連帯しながら大きな流れとなりつつあるのが、この25年であったと思います。卒業生の活躍もあらゆる業界にわたっており、教員、看護師、公認会計士、税理士もいる。また新幹線の運転士もいます。国連職員や世界銀行など、グローバルな活躍も目立ちます。卒業生の姿で大学の真価は決まります。短大の卒業生は母校のために、本当に頑張ってくれています。

司会 では最後に、受験生へのアピールをお願いします。

石井 人生の幸福と勝利の土台を築きながら、将来へと自分の可能性を拓いていく最高の場が創価女子短大ですから、ぜひ来ていただきたい。みなさんを心から思いやる先輩、教職員も待っています。創立者の言われるように「21世紀は女性の時代」であり、女性の力があってこそ世界の平和や人類の幸福は実現できます。その一人になれるよう、2年間思う存分学んで、黄金のような誉れの青春の日々を送り、素晴らしい人生の道を切り開いていただきたいと思っています。



司会:三好 健一(創価教育研究所)

硬式野球部3季連続31度目のリーグ優勝、全国大会ベスト4!

Baseball team wins 3rd consecutive league title, reaches nat'l Final Four!

5月18日(月)、東京新大学野球連盟の春季リーグ戦が東京・大田区の大田スタジアムで行われ、本学硬式野球部は5-4で流通経済大学に勝利。3季連続31度目のリーグ優勝を果たしました。

6年連続17度目の出場となった第58回全日本大学野球選手権大会(東京ドーム、明治神宮球場)では、6月10日広島経済大学、11日東北福祉大学、12日東洋大学に勝利。13日準決勝、富士大学との対戦は、熱戦の末、残念ながら0-2で惜敗しましたが、連日にわたる激戦を戦い抜いた選手たちにスタンドから惜しめない拍手が送られました。

岸雅司監督は「応援、本当にありがとうございました。残念ながら試合には負けてしまいましたが、投手の大塚をはじめ多くの選手がこの大会で成長しました。選手は満身創痍のなか、持てる力をすべて発揮しましたから、悔いはありません。ベスト4の壁は残念ながら破れませんでした。今後



も創価の野球を貫いていきます。もう一度鍛えなおして、決して諦めずに必ず日本一になります」と語りました。

柔道部が全国大会出場決定!

Judo team powers its way to national tournament!

本学柔道部は、5月24日(日)に、日本武道館で行われた「東京学生柔道優勝大会」に出場し、女子は準優勝、男子はベスト16に輝き、男女ともに、全日本学生柔道優勝大会(6月27日、28日 日本武道館)への出場を決めました。

男子は初戦で、慶応義塾大学を破り、続く中央大学戦で惜しくも敗れましたが、2年ぶりの1部昇格を果たし、全国への切符も掴むことができました。

女子は、3人制の部で明治学院大学、東京大学を圧倒。決勝では、強豪・早稲田大学を相手に1敗1分け。迎えた大将戦で秋山樹里さん(教育学部・4年)が背負い投げで一本勝ちし、同率に持ち込むも延長戦で惜敗し、準優勝。秋山さんが優秀選手に選ばれました。

石橋清二監督は「日々のトレーニングの成果を遺憾なく



発揮できた大会だったと思います。ある意味では、大きな自信となった今大会です。全国大会までに、さらにトレーニングを重ね、どこまでも日本一を目指しながら、創立者をはじめ、応援して下さる多くの方々にお応えできるよう頑張つてまいります」と決意を語りました。

2009年度 特待生(各学部・学年で成績最優秀の学生)

2009 scholarship recipients

| 氏名 | 学科／年次 | 氏名 | 学科／年次 | 氏名 | 学科／年次 |
|--------|------------|--------|------------------|--------|-------------------------|
| 小島 健 | 経済学部経済学科4年 | 細木 貴子 | 法学部法律学科4年 | 井戸田 哲也 | 工学部情報システム工学科4年 |
| 西島 沙也加 | 経済学部経済学科4年 | 長野 静子 | 法学部法律学科3年 | 坂本 敏昭 | 工学部情報システム工学科3年 |
| 杉本 富士孝 | 経済学部経済学科4年 | 久保田 和子 | 法学部法律学科3年 | 寺西 翔大 | 工学部情報システム工学科3年 |
| 津覇 佳代子 | 経済学部経済学科4年 | 信田 昌城 | 法学部法律学科3年 | 木村 孝広 | 工学部情報システム工学科2年 |
| 三田 光洋 | 経済学部経済学科4年 | 引田 大地 | 法学部法律学科3年 | 酒井 洋一 | 工学部情報システム工学科2年 |
| 寺田 和之 | 経済学部経済学科3年 | 木下 正信 | 法学部法律学科3年 | 石原 修平 | 工学部生命情報工学科4年 |
| 五十右 幸代 | 経済学部経済学科3年 | 富山 哲 | 法学部法律学科3年 | 村木 栄雄 | 工学部生命情報工学科4年 |
| 洲崎 美子 | 経済学部経済学科3年 | 鮑浦 久美子 | 法学部法律学科2年 | 澤 清久 | 工学部生命情報工学科3年 |
| 酒井 亮 | 経済学部経済学科3年 | 荒井 和子 | 法学部法律学科2年 | 柿崎 正敏 | 工学部生命情報工学科3年 |
| 森岡 久美 | 経済学部経済学科3年 | 椿本 慎 | 法学部法律学科2年 | 岩下 信輝 | 工学部生命情報工学科2年 |
| 中岡 正文 | 経済学部経済学科2年 | 藤澤 栄一 | 法学部法律学科2年 | 新井 一幸 | 工学部生命情報工学科2年 |
| 東 稔 | 経済学部経済学科2年 | 安井 伸治 | 法学部法律学科2年 | 石橋 伸子 | 工学部環境共生工学科4年 |
| 酒井 彩子 | 経済学部経済学科2年 | 山添 光弘 | 法学部法律学科2年 | 佐藤 安奈 | 工学部環境共生工学科4年 |
| 横井 智沙加 | 経済学部経済学科2年 | 宇野 明美 | 文学部英文学科4年 | 合津 友美 | 工学部環境共生工学科3年 |
| 信国 桂子 | 経済学部経済学科2年 | 高橋 有紀 | 文学部英文学科4年 | 竹江 紘世 | 工学部環境共生工学科3年 |
| 岩間 豪樹 | 経営学部経営学科4年 | 戸前 優子 | 文学部社会学科4年 | 西山 美奈子 | 工学部環境共生工学科2年 |
| 溝淵 幸一 | 経営学部経営学科4年 | 寺本 水羽 | 文学部社会学科4年 | 高田 雄将 | 文学部人間学科総合人間学専修3年 |
| 宮崎 邦義 | 経営学部経営学科4年 | 田中 麻紗子 | 文学部人文学科4年 | 坂 奈保美 | 文学部人間学科社会学専修3年 |
| 塩山 藍 | 経営学部経営学科4年 | 西野 優理子 | 文学部人文学科4年 | 樋口 正子 | 文学部人間学科総合人間学専修3年 |
| 平井 幹子 | 経営学部経営学科4年 | 南 未希 | 文学部日本語日本文学科4年 | 程塚 勝寛 | 文学部人間学科人文学専修3年 |
| 宮田 雅恵 | 経営学部経営学科3年 | 渡辺 奈央 | 文学部外国語学科中国語専攻4年 | 星野 麗子 | 文学部人間学科社会学専修3年 |
| 小竹 一雄 | 経営学部経営学科3年 | 金子 唯 | 文学部外国語学科ロシア語専攻4年 | 徐 美林 | 文学部人間学科社会学専修3年 |
| 矢野 奈々子 | 経営学部経営学科3年 | 森島 和代 | 教育学部教育学科4年 | 淤見 貴子 | 文学部人間学科総合人間学専修3年 |
| 小野塚 信 | 経営学部経営学科3年 | 田村 敬子 | 教育学部教育学科4年 | 落合 貴宣 | 文学部人間学科英語・英米文学専修3年 |
| 大谷 多恵子 | 経営学部経営学科3年 | 金 永善 | 教育学部教育学科3年 | 堀江 純子 | 文学部人間学科総合人間学専修2年 |
| 山崎 英樹 | 経営学部経営学科2年 | 高橋 正明 | 教育学部教育学科3年 | 原田 敬子 | 文学部人間学科英語・英米文学専修2年 |
| 安田 世羽 | 経営学部経営学科2年 | 新屋 さつき | 教育学部教育学科2年 | 車谷 洋子 | 文学部人間学科社会学専修2年 |
| 高谷 聖子 | 経営学部経営学科2年 | 野田 淳子 | 教育学部教育学科2年 | 五十嵐 舞花 | 文学部人間学科中国語・中国社会文化専修2年 |
| 山添 千陽 | 経営学部経営学科2年 | 平片 明美 | 教育学部児童教育学科4年 | 馬込 翔子 | 文学部人間学科ロシア語・ロシア社会文化専修2年 |
| 安 恩志 | 経営学部経営学科2年 | 西川 有紀 | 教育学部児童教育学科4年 | 檜村 美穂 | 文学部人間学科総合人間学専修2年 |
| 須山 朋美 | 法学部法律学科4年 | 野島 麻美 | 教育学部児童教育学科3年 | 小畑 良枝 | 文学部人間学科人文学専修2年 |
| 森田 華子 | 法学部法律学科4年 | 佐藤 瞬 | 教育学部児童教育学科3年 | 野沢 紫織 | 文学部人間学科社会学専修2年 |
| 鈴木 圭佑 | 法学部法律学科4年 | 堀江 妙子 | 教育学部児童教育学科2年 | | |
| 角田 志貴保 | 法学部法律学科4年 | 高橋 光一 | 教育学部児童教育学科2年 | | |
| 高橋 千尋 | 法学部法律学科4年 | 縄田 真大 | 工学部情報システム工学科4年 | | |



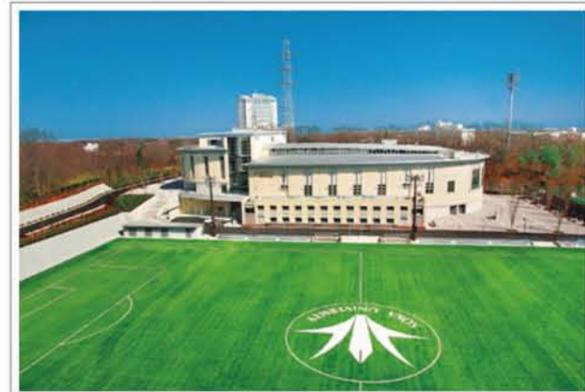
創大キャンパスマップ! 創立40周年に向けて新たな槌音が響く!!

昨年度は池田記念グラウンド、創大門、創大シルクロード、そして、総合体育館が次々と完成しました。今号では、新たに誕生した施設とともに、9月完成予定の大教室棟など、最新のスポットを紹介します!

このページは取り外して、キャンパスマップとしても使用できます。

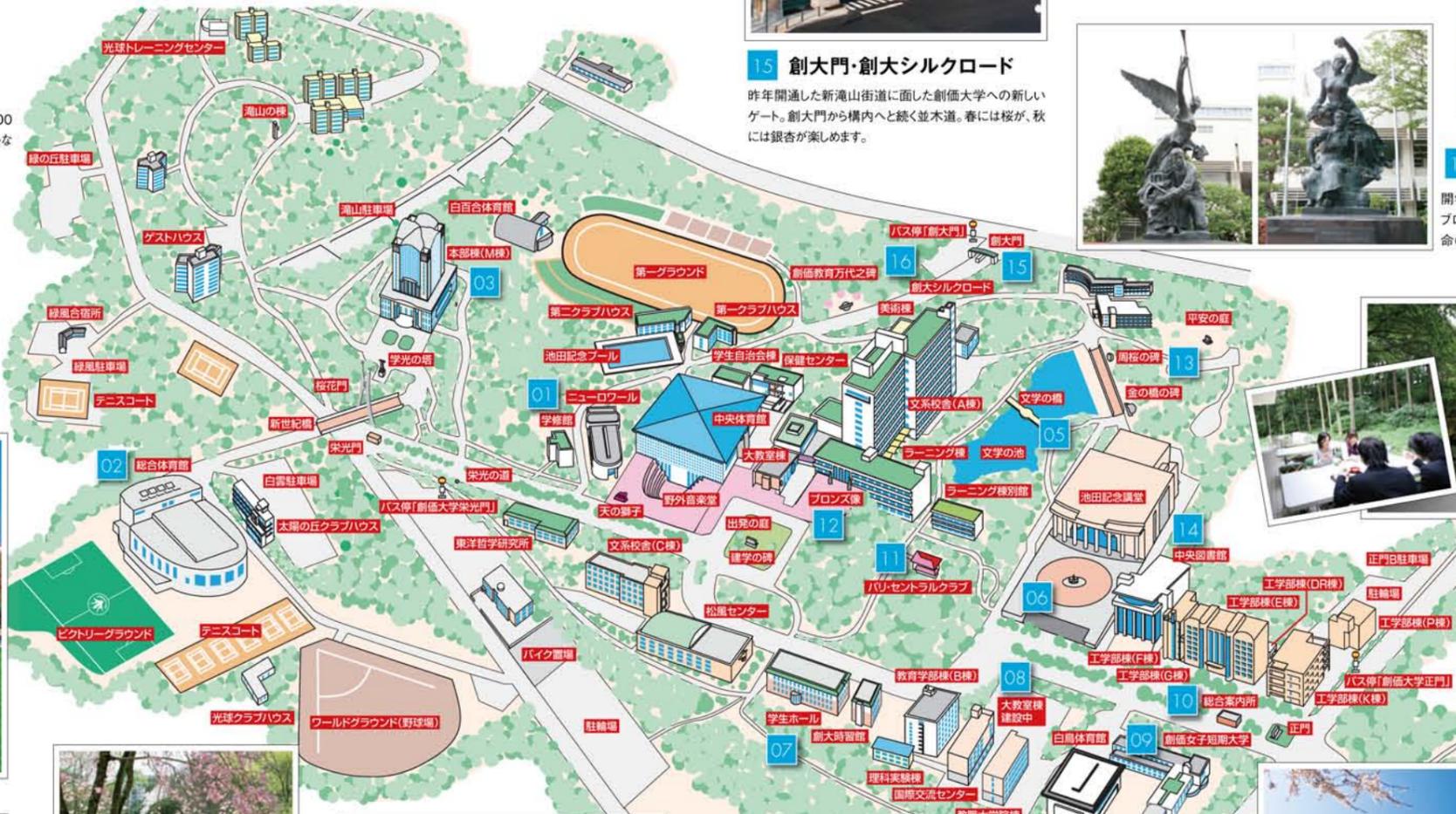
01 ニューロワール
本年4月より(株)グリーンハウスが店舗。1000人収容できる、2階建ての食堂。リーズナブルなお値段で、栄養満点、お腹も、心も大満足。

02 総合体育館
太陽の丘に新たなスポーツの殿堂が誕生。館内には、練習室、多目的室、弓道場、200mランニングコース、最新のトレーニングルーム、広々としたアリーナ、約1000人収容できる観客席を完備。隣接する人工芝のグラウンドには創備大学のエンブレムが。



03 本部棟 (5、6階展示室)
自然豊かな武蔵野の丘陵を一望出来る高さ82mの本部棟。21世紀をリードする創備大学のシンボリックな建物です。5階正面のエントランスホール中央には、ルネサンスの万能の天才レオナルド・ダ・ヴィンチの像が、「英知」と「全人類」を象徴するものです。

04 池田記念グラウンド
大学から車で10分離れた自然に囲まれた場所に、全面天然芝のグラウンド、400mトラック、クラブハウスを完備。



05 文学の池
池田記念講堂と文系A棟の間に文学の池、誰もが一度は足を運んだ憩いの場所。池のほとりはほっとできる空間。八王子の大自然をキャンパス内でたっぷり満喫できます。

06 池田記念講堂
入学式や創大祭、卒業式といった行事が毎年行われる池田記念講堂。アカデミアの噴水や21世紀の鐘、巨匠ヴィクトル・ユゴロやウォルト・ホイットマンの像などもあるこの場所は世界の文化にふれられる名スポットです。



15 創大門・創大シルクロード
昨年開通した新滝山街道に面した創備大学への新しいゲート。創大門から構内へと続く並木道。春には桜が、秋には銀杏が楽しめます。



16 創備教育万代之碑
創備教育の三代の桜と創備教育万代之碑が学生の成長を見つめる



12 A棟前ブロンズ像
開学当初から創備大学を見守っている「天使と印刷工」と「天使と鍛冶屋」の2対のブロンズ像。その台座には「英知を磨くは何のため 君よそれを忘るな」「労苦と使命の中のみ人生の価値(たから)は生まれる」と創立者の言葉が刻まれています。



14 中央図書館
この5階建ての中央図書館を中心に100万冊を超える書物がこの創備大学にはあります。数多くの不朽の名作や7万冊が収められている池田文庫、新たに導入した最新の電子資料へと、是非足を運んでみては?



13 周桜の碑・周桜
創立者と中国の周恩来総理との友情の証。中国からの国費留学生を日本で初めて受け入れたのも本学です。春には、毎年、周桜の観桜会が行われるなど、多くの鑑賞者で賑わいます。



11 パリ・セントラルクラブ
「安く、美味しく、ボリュームあり」の三拍子そろったメニュー盛りだくさん。温かい料理が学生・教職員に大好評。オリジナルのパンも大人気。



10 工学部棟
正門をくぐると、右側一番はじめに見える工学部棟。建物内にはPCルームを完備。最先端の研究機器が導入されている中で、若き研究者たちが日々研究に励んでいます。



07 学生ホール
学生の中では一番の人気スポットがここ学生ホール。1Fには創大グッズや書籍、日用品生活品まであらゆるものが置いてあります。今春から2階にNEWオープンした「サブウェイ」は大人気!



08 大教室棟 (バース)
2階に493人教室と369人教室、1階に大食堂(食堂内448席、テラス席120席)を完備。屋上に、最大出力30kWの太陽発電システムを設置いたします。太陽光発電システムで発生した電力は、大教室棟の施設の空調や照明等に使用されます。年間約3万kWhのクリーンな電力を生み出し、年間約9tの二酸化炭素削減効果が得られます。



09 創備女子短期大学/キュリー像
「知性と福徳ゆたかな女性」「自己の信念をもち人間共和をめざす女性」「社会性と国際性に富む女性」の建学の精神のもと、日本をリードする女性教育が行われている。秘書技能検定文部科学大臣賞(団体)受賞、実用英語技能検定優秀団体賞受賞など実績が光ります。

主な来学者

Selected List of Visitors

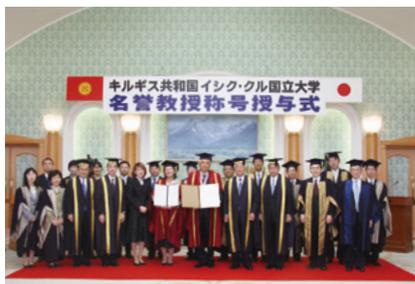
2009年
3月・4月・5月



3/6 金 英国
ウェールズ大学 リチャード・ターナー氏が来学



3/17 火 ポリビア共和国
アキーノ 大学アントニオ・サアベドラ総長一行が来学



4/10 金 キルギス共和国
イシク・クル国立大学 アリムバイトクトンピエフ総長一行が来学。創立者にイシク・クル国立大学名誉教授称号が授与されました。



4/17 金 中華人民共和国
福建農林大学 翁善波副学長一行が来学。創立者に福建農林大学名誉教授称号が授与されました。



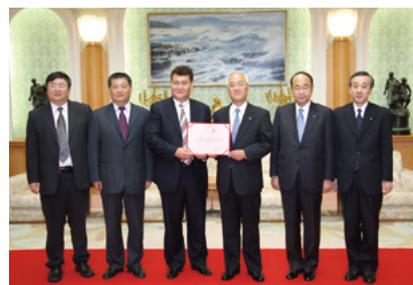
4/22 水 オーストラリア
シドニー平和財団 リース理事長一行が来学



4/24 金 中華人民共和国
河南師範大学 張亜偉校務委員会主任一行が来学。創立者に河南師範大学名誉教授称号が授与されました。



5/14 木 アイランド
ステファンソン駐日大使夫妻一行が来学



5/28 木 中華人民共和国
新疆財經大学 アスハー学長、新疆ウイグル自治区 楊剛常務副主席一行が来学。創立者に新疆財經大学名誉教授称号が授与されました。

3月

- 3(火)【イラン】 テヘラン大学 ハッサン・ラヒームプール・アズガティ教授一行が来学
- 13(金)【マレーシア】 マラヤ大学 ガウス・ジャスモン副総長一行が来学
- 17(火)【アメリカ合衆国】 デューイ協会 ジム・ガリソン会長が来学
- 18(水)【中華人民共和国】 上海師範大学国際交流処 夏宏興副処長が来学
- 22(日)【中華人民共和国】 黒竜江省社会科学学院 劉爽国際問題研究センター長一行が来学

4月

- 2(木)【大韓民国】 韓国海洋大学 呉巨敦総長一行が来学。創立者に韓国海洋大学碩座教授称号が授与されました。
- 2(木)【ドイツ】 ミュンヘン大学 ミヒャエル・フォン・ブリュック教授一行が来学

4月

- 2(木)【中華人民共和国】 中国青年代表团一行が来学
- 13(月)【アメリカ合衆国】 マイアミ大学 オーホベック副学長が来学
- 17(金)【アメリカ合衆国】 南カリフォルニア大学 ケイト・オコナーランゲージアカデミー所長が来学
- 20(月)【メキシコ合衆国】 グアナファト大学 アルトゥーロ・ララ・ロベス総長一行が来学
- 25(土)【中華人民共和国】 世界華文文学連合会 潘耀明(ハン・ヨウメイ)執行会長一行が来学

5月

- 18(月)【英国】 クイーンズ大学 ピーター・J・グレッグソン学長(副総長)一行が来学。創立者にクイーンズ大学名誉博士号が授与されました。



第39回創価大学・第24回創価女子短期大学入学式を挙行

39th Soka University/
24th Soka Women's College Entrance Ceremony

4月2日(木)、第39回創価大学、第24回創価女子短期大学入学式が桜花薫るキャンパス内、池田記念講堂で挙行されました。式典には、創立者 池田大作先生と共に、韓国海洋大学の呉巨敦総長一行、ドイツ・ミュンヘン大学のミハエル・フォン・ブリュック教授一行、中国青年代表団一行らが出席。

席上、創立者 池田大作先生に対し、韓国海洋大学の呉巨敦総長より「碩座教授」称号が授与されました。(碩座教授とは、「碩学」を讃える学術界の荣誉)



構内循環バスが運行を開始

On-campus bus route opens

総合体育館完成に伴い、4月6日(月)より総合体育館への構内循環バスが運行を開始しました。乗・降車できるのは、工学部棟前・学生ホール前・本部棟前の3箇所。工学部棟から本部棟を経由し、再び工学部棟に戻るコースで所要時間は約13分です。

運行期間は、授業実施期間の休み時間の運行となります。



第3回「キャンパスエコツアー」が開催されました。

3rd campus eco-tour conducted

今回のテーマは「“根っこ”に注目してみよう!」でした。「季節の色発見コース」等のコースに分かれ、晴天のキャンパスを歩きました。

蓮保存会の皆さんが案内したコースでは蓮と睡蓮の違いを確認。ハスの根、蓮根をじっくり眺めてみたりしました。ウスバカゲロウの“ルーツ”であるアリジゴクや、あの立派な角をもったカブトムシの“ルーツ”である幼虫にも触れることができ、子供達は大喜び。第4回目は夏に実施する予定です。



蓮と睡蓮の違いを確認



カブトムシの幼虫に触ってみました



新緑の中へ

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム

Soka students in forum with Nobel laureates

6月1日(月)、本学が協力した「ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム・21世紀の創造」(主催/読売新聞社、NHK)が、国連大学ウ・タント国際会議場(東京都渋谷区)で開催されました。「エイズに挑む科学者たち—人類の未来をかけて」をテーマに、エイズウイルス(HIV)を発見した功績により2008年ノーベル賞医学・生理学賞を受賞したフランソワーズ・バレーシヌシ氏(パスツール研究所教授)による基調講演のほか、本学卒業生・青木美由紀さんの活動報告、エイズ予防財団理事長・木村哲氏、国立感染症研究所エイズ研究センター長・山本直樹氏、バレーシヌシ氏によるパネルディスカッションなど多彩な内容となりました。



青木さんは、NPO法人・シェアの海外事業チームリーダー。これまで東ティモールや南アフリカなどで保健・HIV/AIDSサポートプロジェクトに関わった経験を語りました。とくに南アフリカにおけるエイズの蔓延の現状、差別と貧困のうちに12歳で亡くなった子どものエピソードなど、自らが体験した貴重な現地報告は、衝撃的かつ感動的なものでした。「草の根の人と人とのつながりを大切にしながら、健康で平和な社会作り、世界作りに取り組んでいきたい」とアピールで締めくくった青木さんに、会場から惜しみない拍手がおくられていました。



また、同フォーラムでは、老川読売新聞東京本社代表取締役社長、フィリップ・フォール駐日フランス大使、本学の山本学長が挨拶をしました。

英国・クイーンズ大学と本学共催の記念シンポジウムを開催

Soka, Queen's University Belfast hold commemorative symposium

5月19日(火)、英国・クイーンズ大学と本学が共催する記念シンポジウムが開催されました。このシンポジウムは、創立者 池田先生の名誉博士号受章を祝賀して行なわれ、本学教職員・学生等が参加しました。



午前の部

シンポジウムの午前の部では、クイーンズ大学ケネス・ブラウン副総長補が基調講演を行い、創立100周年を迎えるクイーンズ大学が、国際社会に有為な人材を多く輩出してきた歴史に言及され、「創価大学が目指す平和の哲学は、クイーンズ大学のもつ寛容と相互理解の精神と相通じるものです。クイーンズ大学はこれから、大いに国際的ネットワークを広げて参りますが、池田先生の教育哲学を大いに学び、より国際的な大学にしていきたい」と語りました。



午後の部



流れ星に"願い"をこめて、子供たちの夢を募集! 創価大学の超小型人工衛星「Negai☆”(ねがい)”来年夏、宇宙へ打ち上げ!

Soka microsatellite Negai (Wish) set for launch in summer 2010

創価大学工学部が開発中の超小型人工衛星「Negai☆”(ねがい)”(黒木聖司研究室)が、金星探査機「PLANET-C」の相乗り衛星として来年夏、宇宙へ打ち上げられます。

同衛星は子供たちの夢を搭載し、地球を約20日間周回した後、大気圏に突入して流れ星になります。

わずか10cm立方の小さな「Negai☆”(ねがい)”が、子供たちの"願い"を宇宙へ届けます。



創価大学では衛星に載せる子供たちの夢を募集しています。

募集資格 小学6年生以下 **募集期限** 平成21年7月31日(金)消印有効

宛先

〒192-8577 創価大学工学部黒木研究室「ねがい」係

※通常ハガキでの受付となります。裏面にイラスト等、自由にご記入下さい。そのままマイクロフィルムに転写し、衛星に搭載します。イラスト等は連絡なく研究室ウェブサイト等で公開させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

創価大学重宝「創立者御揮毫の大皿と大壺」

Soka University's precious collection

1973(昭和48)年7月13～15日の3日間、創価大学において「第2回滝山祭」が盛大に開催されました。

滝山祭期間中、創立者は、炎天下のキャンパスを歩かれ、連日、汗まみれになりながら学生を激励されました。

初日の第2回滝山祭記念講演「スコラ哲学と現代文明」においては、創価大学の未来への使命を訴え、2日目には、寮の中や周辺で行われている展示や模擬店を一つ一つ回られ、学生と数々の出会いを重ねられました。

最終日には、中央体育館で行われた盆踊り大会に出席。学生の踊りの輪に入り、一緒に踊られました。さらに、自ら浴衣姿でバチを握り太鼓をたたかれました。額からは汗が流れ、手にできたまめが破れても、バチを打ち続けられました。

さて、ここで紹介するのは、創立者が滝山祭の展示会場を回られていた際、学生からの要望に応え、素焼きの大皿と大壺に筆を執られたものです。

大皿には「わが弟子よ 人間の 王者たれ」、

大壺には「健康 栄光 英知 勝利 福運 情熱 正義」とあります。

創立者は、盆踊り大会でのあいさつの際、「学生の将来のために」と大壺に書かれた7つの言葉に触れ、「第一に生涯、健康たれ」「第二に生涯、青春たれ」「第三に生涯、栄光たれ」「第四に生涯、福運をもて」「第五に人生の勝利者たれ」「第六に生

涯、英知の人たれ」「第七に生涯、正義の人たれ」との指針を示されました。



第37回夏季大学講座一覧

Summer Course 2009

37回目を迎える夏季大学講座が今年も8月28日(金)から30日(日)の3日間で56講座を開講します。昨年は、1万1千人を超える人が受講。夏季大学講座は創立者 池田大作先生の提案で、「市民に開かれた大学」を目指し、開学3年目の1973年からスタート。本年は大人気の「英会話」の講座も充実。

新たに「韓国語」の講座も開講。科学、文学、法律、芸術、歴史など、多種多様な講座を開講致します。

問い合わせ先 夏季大学講座係 Tel.042-691-8228

| No. | コード | 学部 | 役職 | 担当教員 | 講義テーマ | 担当日 会場 |
|-----|-------|-----------------|----------------|---------------|---------------------------------------|-----------------|
| 1 | 36774 | 経済 | 研究科長 教授 | 北 政巳 | 日英150年史 —第8代エルキン卿の世界— | 28日 A229教室 |
| 2 | 36775 | 経済 | 教授 | 神立 孝一 | 創備学園・創備大学と創立者 | 28日 池田記念講堂 |
| 3 | 36776 | 法 | 准教授 | 三宅 利昌 | 相続・遺言をめぐる法律問題 | 28日 A329教室 |
| 4 | 36777 | 文 | 教授 | 田中 亮平 | 自然と伝説と詩 —ドイツの習俗と文学— | 28日 A130教室 |
| 5 | 36778 | 文 | 教授 | 坂井 孝一 | 続・青年将軍「源実朝」の 悲劇—その真相— | 28日 A129教室 |
| 6 | 36779 | 教育 | 教授 | 吉川 成司 | 心のエクササイズ: 自分らしさとふれあいのために | 28日 M401教室 |
| 7 | 36780 | 教育 | 准教授 | 高野 久美子 | 子どもの育ちを支援するために | 28日 A230教室 |
| 8 | 36781 | 工 | 副学長補 学部長・教授 | 渡辺 一弘 | 安全と安心の生活空間: 創備大学工学部の挑戦 | 28日 S101教室 |
| 9 | 36782 | 工 | 専攻長 教授 | 西原 祥子 | ショウジョウバエとヒトを比べると —遺伝子・タンパク質から糖鎖へ— | 28日 S201教室 |
| 10 | 36783 | 工 | 専攻長 教授 | 山本 修一 | 地球温暖化を考える —その現状と将来予測— | 28日 M402教室 |
| 11 | 36784 | 別科 | 教授 | 伊 秀一 | 今からはじめる韓国語 | 28日 A327教室 |
| 12 | 36785 | 創 備 女子短大 | 教授 | 水元 昇 | 不況を乗り越える 松下幸之助の知恵 | 28日 短大 白鳥体育館 |
| 13 | 36786 | 創 備 女子短大 | 准教授 | 南 紀子 | 大学一年生レベルの 英語リスニング演習 | 28日 M201教室 |
| 14 | 36787 | 教育 | 教授 | 清水 由朗 | 親子で学ぶ—日絵画教室 | 28日 A204教室 |
| 15 | 36788 | ワールド シニアセンター | 講師 | 橋本 信一 | —日英会話講座—入門編II— | 28日 M304教室 |
| 16 | 36789 | 経済 | 副学長補 教授 | 寺西 宏友 | 創立者の「人間外交」を考える —1974年の訪中・訪ソを事例として— | 29日 M402教室 |
| 17 | 36790 | 経済 | 教授 | 高木 功 | 世界・アジアの高齢化と 縮む日本社会の構想 | 29日 A405教室 |
| 18 | 36791 | 法 | 副学長補 教授 | 高村 忠成 | 世界に光る創立者 池田先生の 人間主義の対話 | 29日 短大 白鳥体育館 |
| 19 | 36792 | 法 | 学部長 教授 | 花見 常幸 | 暮らしに生きる法律 | 29日 A129教室 |
| 20 | 36793 | 法 科 大学院 | 教授 | 黒木 松男 | 介護保険の改定 —その影響と今後の課題— | 29日 A327教室 |
| 21 | 36794 | 文 | 教授 | 西田 禎元 | 中国・歴史と文学の旅 | 29日 A230教室 |
| 22 | 36795 | 文 | 教授 | 菅野 博史 | 『法華経』を読む(5) —法師品・見宝塔品— | 29日 S201教室 |
| 23 | 36796 | 文 | 准教授 | 江口 満 | トルストイと「生きる意味」 | 29日 A130教室 |
| 24 | 36797 | 教育 | 准教授 | ビクター 桑原 | 最新の環境科学II —太陽と海の恋愛— | 29日 S101教室 |
| 25 | 36798 | 教育 | 准教授 講師 | 董 芳勝 足立 広美 | 音楽の心と詩心の響き | 29日 池田記念講堂 |
| 26 | 36799 | 教 職 大学院 | 教授 | 馬塚 百々子 | 豊かな感情を育む 家族のかかわり | 29日 M401教室 |
| 27 | 36801 | 工 | 教授 | 勅使河原 可海 | インターネットの誕生から 最先端のネットワークまで | 29日 M201教室 |
| 28 | 36802 | 工 | 教授 | 清水 昭夫 | ごはんからダイヤモンドまで —身の回り品が利用した最新技術— | 29日 A229教室 |
| 29 | 36803 | 通 信 教育部 | 准教授 | 加納 直幸 | “人道的競争”の 時代の人間像 | 29日 A406教室 |

| No. | コード | 学部 | 役職 | 担当教員 | 講義テーマ | 担当日 会場 |
|-----|-------|-----------------|------------|-------|--------------------------------------|-----------------|
| 30 | 36804 | 教育 | 教授 | 清水 由朗 | 親子で学ぶ—日絵画教室 | 29日 A204教室 |
| 31 | 36805 | ワールド シニアセンター | 講師 | 橋本 信一 | —日英会話講座—入門編II— | 29日 M304教室 |
| 32 | 36807 | 法 科 大学院 | 副学長 教授 | 桐ヶ谷 章 | 法律の知恵あれこれ —こんな時どうする?<2>— | 30日 M401教室 |
| 33 | 36808 | 法 | 教授 | 高橋 保 | 世界・日本の女性文化人類学 —結婚・夫婦・家庭・家族を中心に— | 30日 S101教室 |
| 35 | 36810 | 文 | 研究科長 教授 | 石神 豊 | ニーチェの 『ツァラトゥストラ』を読む | 30日 M402教室 |
| 36 | 36811 | 文 | 教授 | 李 燕 | 毛沢東の遺産 —精神と物質・伝統と現実— | 30日 A405教室 |
| 37 | 36812 | 文 | 教授 | 高橋 強 | 中国の碩学が 書いた池田研究論文 | 30日 A130教室 |
| 38 | 36813 | 文 | 准教授 | 玉井 秀樹 | 平和を創る人間をめざして —創立者の平和提言に学ぶ— | 30日 A406教室 |
| 39 | 36814 | 文 | 准教授 | 藤本 和子 | 英語アラカルト —現代英語の発音から用法まで— | 30日 A327教室 |
| 40 | 36815 | 教育 | 教授 | 鈞 治雄 | “人間が大好きになる 心理学”のすすめ! | 30日 池田記念講堂 |
| 41 | 36816 | 教育 | 教授 | 小山 満 | 滝山城址と創備大学 | 30日 A329教室 |
| 42 | 36817 | 教 職 大学院 | 教授 | 長崎 伸仁 | 広げよう 私からあなたへ! 対話の(和)輪 | 30日 短大 白鳥体育館 |
| 43 | 36818 | 工 | 教授 | 中嶋 一行 | 生命のしくみなぜが必要か | 30日 A129教室 |
| 44 | 36819 | 通 信 教育部 | 教授 | 佐瀬 一男 | 少年法の改正と、少年の人權 | 30日 A230教室 |
| 45 | 36820 | 創 備 女子短大 | 副学長補 教授 | 鈴木 正敏 | 日常生活と健康 —運動と食生活を中心に— | 30日 S201教室 |
| 46 | 36821 | 創 備 女子短大 | 准教授 | 亀田 多江 | あなたのためのIT・ネットワーク —高齢者見守りシステムなどから— | 30日 M201教室 |

親子で楽しむ科学実験教室 ※親1人、子1人(小学校高学年)の1組

| | | | | | | |
|----|-------|---|-----|-------|-------------------------------------|-------------------------------|
| 47 | 36822 | 工 | 准教授 | 篠宮 紀彦 | 空高く打ち上げよう! 水噴射ロケット実験 | 29日 30日 工学部棟 E506実験室 |
| 48 | 36823 | 工 | 准教授 | 崔 龍雲 | ロボットを組み立てて 一緒に遊ぼう! | 29日 30日 工学部棟 E501実験室 |
| 49 | 36824 | 工 | 准教授 | 伊本 俊明 | 太陽の光でラジオが聴ける? エコソーラー・ラジオを 作る! | 29日 30日 工学部棟 E201教室 |
| 50 | 36825 | 工 | 講師 | 伊本 俊明 | 太陽の光でラジオが聴ける? エコソーラー・ラジオを 作る! | 29日 30日 工学部棟 E201教室 |
| 51 | 36826 | 工 | 講師 | 伊本 俊明 | 太陽の光でラジオが聴ける? エコソーラー・ラジオを 作る! | 29日 30日 工学部棟 E201教室 |
| 52 | 36827 | 工 | 講師 | 伊本 俊明 | 太陽の光でラジオが聴ける? エコソーラー・ラジオを 作る! | 29日 30日 工学部棟 E201教室 |

ビジネス公開講座 統一テーマ:「不況を乗り越える経営」

| | | | | | | |
|----|-------|----|-----------|-------|--------------------------------|---------------|
| 53 | 36828 | 経営 | 教授 | 犬塚 正智 | もの造り日本 —ガラパゴス化からの脱却— | 29日 A228教室 |
| 54 | 36829 | 経営 | 教授 | 平岡 秀福 | 不況に喘ぐ! 勝つ! 克つ! マネジメントのための会計 | 29日 A427教室 |
| 55 | 36830 | 経営 | 学部長 教授 | 前田 清隆 | 税制の活用と企業経営 —法人税制を中心として— | 30日 A228教室 |
| 56 | 36831 | 経営 | 教授 | 國島 弘行 | 長寿企業に学ぶ 「社会と共生する企業経営」 | 30日 A427教室 |

当日の内容

開 講 日 平成21年8月28日(金)・29日(土)・30日(日)

会 場 創備大学(東京都八王子市丹木町1-236)

聴 講 資 格 自由(科学実験教室・絵画教室は親子)

聴 講 料 1講座2,500円(税込)

科学実験教室は1組(教材費を含む)で

4,000円(税込)

◆1日に聴講できるのは1講座です。

◆申し込み後の変更ならびに返金はできません。

◆「創友会・会友会カード」(クレジットカード併用)をお持ちの方は、当日、割引額(500円)を返金いたします。

当日の時間帯

(1講座、午前・午後合わせて3時間になります)

午前の講義 10:00~11:30

昼食・休憩 11:30~13:30(構内散策など)

午後の講義 13:30~15:00

バス等の案内

●ピストンバス往路

JR八王子駅北口14番乗場より大学構内直行便を、午前7:30~午前9:30まで運行します。

●ピストンバス復路

大学構内2カ所よりJR八王子駅直行便を午後3:00~午後4:00まで運行します。

※午後4:00以降は、通常の路線バスをご利用ください。

お申し込み方法

コンビニエンスストア「ローソン」各店で、チケット発券機Loppi(ロッピー)にて行っております。

①メニュー画面で「商品番号入力」をタッチします。

②Lコードを入力します。

例:口座番号1番の場合「36774」と入力。

③お申し込み口座を確認の上、席種の一般を押します。

④お申し込み枚数を入力の上、自動選択を押します。

⑤氏名を入力し、〈次へ〉を押します。画面がかわり、電話番号を入力します。

⑥お申し込み内容の確認。

⑦申し込み券(ロッピーより発券されます)をレジに持参し、代金の精算をして、チケットを受け取ります。

※当日はチケットを忘れずにご持参ください。

●ロッピー(発券機)の使い方

ローソンカスタマーセンター(ロッピー) 0120-36-3963
(受付時間:年中無休24時間)

または、ロッピー備え付けの電話をお使いください。

●お近くのローソンの探し方

お電話で… ローソンカスタマーセンター

0120-07-3963(受付時間:月~土 9:00~17:45)

インターネットで… <http://map.lawson.co.jp/c/f/>



平成20年度 創価大学の事業および決算報告

Soka University's Activities and Financial Statement for Fiscal 2008

財務担当理事 原島 健二



学校法人創価大学の平成20年度事業及び決算について、ご報告いたします。経済状況の大変厳しい中にもかかわらず、多くの方々からご支援をいただき、キャンパス整備計画・教育内容の充実整備も順調に推移しております。創価大学を支えてくださるすべての方々に深く感謝申し上げます。

一方、経費節減には教・職員一体となり取り組んでおり、また科学研究費をはじめ外部資金獲得にも積極的に挑戦を続けております。

平成20年度は、待望の総合体育館、創大門・創大シルクロードが完成いたしました。

翌21年度は、大教室・食堂棟が9月完成予定であり、新総合教育棟建設を目指して中央体育館の解体が始まる等、第2期キャンパス建設計画がいよいよ始まります。

1 財務状況の推移

ここ4年間の財務状況の推移は下記のとおりです。

(百万円)

| | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 帰属収入 (A) | 45,654 | 18,307 | 20,739 | 17,508 |
| 基本金組入額 (B) | 28,764 | 3,401 | 5,745 | 1,296 |
| 消費収入合計 (C=A-B) | 16,890 | 14,906 | 14,994 | 16,212 |
| 消費支出 (D) | 16,647 | 14,795 | 15,255 | 16,259 |
| 消費収支差額 (C-D) | 243 | 111 | △261 | △47 |

本年度の消費収入は、寄付金収入を除いては前年度並みの水準でした。また消費支出は、管理経費の増額や資産処分差額などが増加しました。ただ、教育用機器や旧グラウンドの除却により基本金組入れが縮小し、結果として消費収支差額は、当初の予算どおりでほぼ均衡の状況となりました。

今後とも、さらに経費削減の努力と収入増加に取り組み、学校法人会計基準による「消費収支の均衡」を維持し、累積消費支出超過額(△48億円)の改善を目指して、一層の努力を重ねてまいります。

2 収入の状況

学生生徒等納付金(学費)収入は、予算比では0.5億円、19年度比では0.8億円と若干の減収となりました。これは主に、通信教育部で制度の見直しを行い、科目履修生が減少、学費収入も減少したこと等によるものです。

手数料収入は、予算通りの3.7億円でしたが、前年度比では0.2億円の減少となっています。これは主に入学検定料の減収によるものです。

寄付金収入は、厳しい経済状況の中、31億円もの寄付金を頂戴することができました。誠に感謝に堪えません。

補助金収入は、ほぼ予算どおりで、かつ昨年度とほぼ同額となりました。昨年度に引き続き研究設備補助金を獲得し、またマルチメディア等補助金は3年ぶりの採択となりました。

資産運用収入は、運用規程に基づき定期的に資金会議を行い、理事会・常任理事会の決裁、報告を経て、効率的な運用を行っています。国内債や仕組債での運用をはじめ、先進国の国債等を組入れた投資信託等も取り組み、世界的な金融危機と経済不況の状況下にもかかわらず、昨年度比で1.2億円の増収となりました。

以上により、帰属収入合計は、ほぼ予算どおりの決算額となりました。

基本金組入額は、マルチメディア装置や工学部研究設備品等の除却3.5億円、グラウンド移転工事に伴う旧ラグビーグラウンドの除却3億円等が発生し、計13億円の基本金組入れとなりました。

消費収入の部合計は、予算では6.8億円の増額、また昨年度比では、12.2億円の増額となりました。

3 支出の状況

教職員数については、基本となる数を定め、計画に基づいて新規採用を行い、これまで適正な規模を維持しています。本年度の人員費は、退職給与引当金への繰入額が減少し、また定年退職者数が比較的多かったことなどで、定昇による微増はあったものの、予算比1.6億円、昨年度比で1.2億円の減少となりました。

教育研究経費支出は、教職大学院棟の建設等による減価償却額の増加、原油高騰による光熱水費の増加がありましたが、修繕費の減少などで、ほぼ昨年度並みとなりました。

管理経費支出は、志願者確保等のための広報費や、光熱水費、減価償却費、さらに委託費等が増加しました。一方、修繕費、手数料、備品費が事業の終了等により減少し、合計では4.7億円の増額となりました。

「百年に一度」と言われる世界的な金融危機、経済不況により、本学が保有する有価証券においても時価が下落した債券が確認され、不動産などの処分差額と合わせると、資産処分差額は8.8億円になりました。

支出全体としては、予算より6億円増額、昨年度比では10億円の増額となりました。今後とも一層経費削減に努力し、教育・研究充実のための経費を十分に確保したいと思います。

4 資産・負債および基本金組入れの状況

資産については、年度末に総合体育館、創大門・創大シルクロード(並木道)が完成し、工学部棟の空調工事、寮周辺フェンス工事、グラウンド整備工事、教育用機器備品の充実等、61.5億円増額しました。一方、旧太陽の丘グラウンドの除却、創大門臨時駐車場の撤去、語学教室設備及び工学部研究設備品等の除却により7.5億円が減額し、その結果、第1号基本金組入合計は、54億円となりました。

第2号基本金については、第1号基本金への振替で51億円が減少し、大教室建設資金として寄付金3億円分を組入れました。また第3号基本金には7億円を組入れ、基本金の部合計は13億円増額しました。

負債では、日本私立学校振興・共済事業団からの借入金の返済などにより減少し、財務の健全性を示す指標の一つである総負債比率(総負債/総資産)は、昨年度と同じ5.2%となっています。負債の額も比率も低下の傾向で、財政の健全性は維持されています。

5 奨学基金の状況

奨学基金(国際奨学基金、国際交流基金、奨学基金など)については、本年度は7億円を繰り入れ、増額することができました。今後、さらに学生への奨学金支給を充実していくためにも、奨学基金元本の拡充を図ってまいりたいと思います。

以上のとおり、本年度の消費収支差額は0.5億円の支出超過で、ほぼ消費収支の均衡の状態となりました。ただし、設備の除却等臨時的なプラス要因もあり、今後とも恒常的な財政健全化へ向け引き続き経費の削減に取り組むとともに、さらに外部資金・補助金等の獲得、また安全かつ効率的な資産運用による収入の確保に努め、生き残りをかけた大学淘汰の厳しい時代を乗り越えていきたいと考えます。

平成20年度 消費収支計算書

(単位：千円)

| 科 目 | 19年度 決算 | 消費収入の部 | | | 前年度決算 との差異 |
|----------|------------|------------|------------|----------|---------------|
| | | 予算 | 決算 | 差異 | |
| 学生生徒等納付金 | 9,618,359 | 9,589,800 | 9,540,143 | 49,657 | △78,216 |
| 手数料 | 385,475 | 363,500 | 365,357 | △1,857 | △20,118 |
| 寄付金 | 6,423,366 | 3,074,000 | 3,126,406 | △52,406 | △3,296,960 |
| 補助金 | 1,698,260 | 1,691,700 | 1,686,650 | 5,050 | △11,610 |
| 資産運用収入 | 1,736,187 | 1,813,000 | 1,860,282 | △47,282 | 124,095 |
| 資産売却差額 | 16,191 | 40,000 | 22,812 | 17,188 | 6,621 |
| 事業収入 | 730,408 | 790,000 | 740,296 | 49,704 | 9,888 |
| 雑収入 | 130,493 | 100,000 | 166,010 | △66,010 | 35,517 |
| 帰属収入合計 | 20,738,739 | 17,462,000 | 17,507,956 | △45,956 | △3,230,783 |
| 基本金組入額合計 | △5,744,741 | △1,925,280 | △1,295,805 | △629,475 | 4,448,936 |
| 消費収入の部合計 | 14,993,998 | 15,536,720 | 16,212,151 | △675,431 | 1,218,153 |

| 科 目 | 19年度 決算 | 消費支出の部 | | | 前年度決算 との差異 |
|-------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------|---------------------|
| | | 予算 | 決算 | 差異 | |
| 人件費 | 6,830,796 | 6,877,100 | 6,714,155 | 162,945 | △116,641 |
| 教育研究経費 (減価償却額) | 5,856,989 (1,792,856) | 6,081,400 (1,805,600) | 5,890,689 (1,837,626) | 190,711 (32,026) | 33,700 (44,770) |
| 管理経費 (減価償却額) | 2,191,188 (656,187) | 2,472,119 (689,400) | 2,661,268 (697,455) | △189,149 (8,055) | 470,080 (41,268) |
| 借入金等利息 | 23,139 | 20,000 | 19,867 | 133 | △3,272 |
| 資産処分差額 | 243,287 | 100,000 | 887,449 | △787,449 | 644,162 |
| 徴収不能引当金繰入額等 | 109,266 | 103,000 | 85,882 | 17,118 | △23,384 |
| 予備費 | 0 | (32,720) | 0 | (32,720) | 0 |
| 消費支出の部合計 | 15,254,665 | 15,653,619 | 16,259,310 | △605,691 | 1,004,645 |
| 当年度消費収入超過額 | △260,668 | △116,899 | △47,159 | △69,740 | 213,509 |
| 前年度繰越消費収入超過額 | △4,498,657 | △4,759,325 | △4,759,325 | 0 | △260,668 |
| 翌年度繰越消費収入超過額 | △4,759,325 | △4,876,224 | △4,806,484 | △69,740 | △47,159 |

平成20年度 資金収支計算書

(単位：千円)

| 科 目 | 19年度 決算 | 収入の部 | | | 前年度決算 との差異 |
|------------|------------|------------|------------|-------------|---------------|
| | | 予算 | 決算 | 差異 | |
| 学生生徒等納付金収入 | 9,618,359 | 9,589,800 | 9,540,143 | 49,657 | △78,216 |
| 手数料収入 | 385,475 | 363,500 | 365,357 | △1,857 | △20,118 |
| 寄付金収入 | 6,389,467 | 3,033,000 | 3,056,543 | △23,543 | △3,332,924 |
| 補助金収入 | 1,698,260 | 1,691,700 | 1,686,650 | 5,050 | △11,610 |
| 資産運用収入 | 1,736,187 | 1,813,000 | 1,860,282 | △47,282 | 124,095 |
| 資産売却収入 | 20,347,972 | 13,000,000 | 27,606,046 | △14,606,046 | 7,258,074 |
| 事業収入 | 730,408 | 790,000 | 740,296 | 49,704 | 9,888 |
| 雑収入 | 114,027 | 100,000 | 160,072 | △60,072 | 46,045 |
| 前受金収入 | 3,014,653 | 2,558,900 | 2,971,421 | △412,521 | △43,232 |
| その他の収入 | 9,180,966 | 9,683,200 | 9,140,998 | 542,202 | △39,968 |
| 資金収入調整勘定 | △2,859,501 | △2,796,600 | △3,178,739 | 382,139 | △319,238 |
| 前年度繰越支払資金 | 7,098,319 | 5,686,195 | 5,686,195 | 0 | △1,412,124 |
| 収入の部合計 | 57,454,592 | 45,512,695 | 59,635,264 | △14,122,569 | 2,180,672 |

| 科 目 | 19年度 決算 | 支出の部 | | | 前年度決算 との差異 |
|-----------|------------|------------|------------|-------------|---------------|
| | | 予算 | 決算 | 差異 | |
| 人件費支出 | 6,783,125 | 6,877,100 | 6,785,380 | 91,720 | 2,255 |
| 教育研究経費支出 | 4,014,747 | 4,275,801 | 4,044,186 | 231,615 | 29,439 |
| 管理経費支出 | 1,535,045 | 1,782,719 | 1,956,901 | △174,182 | 421,856 |
| 借入金等利息支出 | 23,139 | 20,000 | 19,867 | 133 | △3,272 |
| 借入金返済支出 | 98,280 | 98,280 | 93,840 | 4,440 | △4,440 |
| 施設関係支出 | 7,362,764 | 6,034,630 | 5,873,236 | 161,394 | △1,489,528 |
| 設備関係支出 | 384,172 | 556,636 | 401,777 | 154,859 | 17,605 |
| 資産運用支出 | 27,355,554 | 16,394,490 | 32,514,838 | △16,120,348 | 5,159,284 |
| その他の支出 | 4,966,224 | 4,927,000 | 4,862,990 | 64,010 | △103,234 |
| 予備費 | 0 | (34,356) | 0 | (34,356) | 0 |
| 資金支出調整勘定 | △754,653 | △1,700,000 | △1,502,963 | △197,037 | △748,310 |
| 次年度繰越支払資金 | 5,686,195 | 6,246,039 | 4,585,212 | 1,660,827 | △1,100,983 |
| 支出の部合計 | 57,454,592 | 45,512,695 | 59,635,264 | △14,122,569 | 2,180,672 |

平成20年度 貸借対照表

(単位：千円)

| 資産の部 | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|
| 科 目 | 19年度末 | 20年度末 | 増減(20-19) |
| 固定資産 | 150,240,828 | 161,191,612 | 10,950,784 |
| 有形固定資産 | 76,864,116 | 80,476,326 | 3,612,210 |
| 土地 | 17,945,858 | 17,944,287 | △1,571 |
| 建物 | 46,056,107 | 50,176,791 | 4,120,684 |
| 構築物 | 3,570,521 | 5,602,965 | 2,032,444 |
| 教育研究用機器備品 | 2,753,233 | 2,739,147 | △14,086 |
| 図書 | 3,728,025 | 3,849,857 | 121,832 |
| 建設仮勘定 | 2,810,372 | 163,279 | △2,647,093 |
| その他の固定資産 | 73,376,712 | 80,715,286 | 7,338,574 |
| 有価証券 | 4,045,185 | 15,691,453 | 11,646,268 |
| 保険積立金 | 1,797,850 | 1,127,334 | △670,516 |
| 長期定期預金 | 3,103,453 | 3,805,883 | 702,430 |
| 奨学金 | 1,915,803 | 1,778,131 | △137,672 |
| 退職給与引当特定資産 | 4,042,233 | 3,971,008 | △71,225 |
| 減価償却引当特定資産 | 17,728,133 | 17,728,133 | 0 |
| 第2号基本金引当資産 | 16,830,622 | 12,008,533 | △4,822,089 |
| 第3号基本金引当資産 | 23,796,816 | 24,500,586 | 703,770 |
| その他の固定資産 | 116,617 | 104,225 | △12,392 |
| 流動資産 | 16,304,926 | 6,672,295 | △9,632,631 |
| 現金預金 | 5,686,194 | 4,585,212 | △1,100,982 |
| 有価証券 | 10,070,621 | 299,852 | △9,770,769 |
| その他 | 548,111 | 1,787,231 | 1,239,120 |
| 資産の部合計 | 166,545,754 | 167,863,907 | 1,318,153 |

| 負債の部 | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 科 目 | 19年度末 | 20年度末 | 増減(20-19) |
| 固定負債 | 4,717,813 | 4,552,748 | △165,065 |
| 長期借入金 | 675,580 | 581,740 | △93,840 |
| 退職給与引当金 | 4,042,233 | 3,971,008 | △71,225 |
| 流動負債 | 3,957,895 | 4,192,467 | 234,572 |
| 短期借入金 | 93,840 | 93,840 | 0 |
| 短期未払金 | 644,268 | 927,285 | 283,017 |
| 前受金 | 3,014,653 | 2,971,421 | △43,232 |
| その他 | 205,134 | 199,921 | △5,213 |
| 負債の部合計 | 8,675,708 | 8,745,215 | 69,507 |

| 基本金の部 | | | |
|---------|-------------|-------------|------------|
| 科 目 | 19年度末 | 20年度末 | 増減(20-19) |
| 第1号基本金 | 120,988,553 | 126,386,057 | 5,397,504 |
| 第2号基本金 | 16,814,002 | 12,008,533 | △4,805,469 |
| 第3号基本金 | 23,796,816 | 24,500,586 | 703,770 |
| 第4号基本金 | 1,030,000 | 1,030,000 | 0 |
| 基本金の部合計 | 162,629,371 | 163,925,176 | 1,295,805 |

| 消費収支差額の部 | | | |
|--------------|------------|------------|-----------|
| 科 目 | 19年度末 | 20年度末 | 増減(20-19) |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 4,759,325 | 4,806,484 | 47,159 |
| 消費収支差額の部合計 | △4,759,325 | △4,806,484 | △47,159 |

| 負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計 | 19年度末 | 20年度末 | 増減(20-19) |
|----------------------------|-------------|-------------|-----------|
| | 166,545,754 | 167,863,907 | 1,318,153 |

尚、事業報告書を創価大学ホームページに掲載しております。

OPEN CAMPUS 2009

毎年好評のオープンキャンパスを今年も開催します。
ふるってご参加下さい!

日程

2009年 2009年
7月19日(日) 7月26日(日)

2009年 2009年 2010年
8月23日(日) 9月20日(日) 3月22日(祝)

開催時間

10:00~17:00

事前申込不要、入退場自由

主な企画(予定)

歓迎フェスティバル/キャンパスバスツアー/入試問題「傾向と対策講座(英語・国語)/模擬授業(学科ガイダンス含む)/入試ガイダンス/保護者説明会/受験相談コーナー/学食体験(有料)/本部棟自由見学/各施設見学/ビデオ上映コーナーなど。その他記念品・資料等多数配布。



歓迎フェスティバル

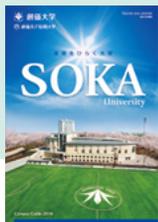


受験相談コーナー

完成!

創価大学キャンパスガイド2010 創価女子短期大学ガイドブック2010

創価大学・創価女子短期大学の受験生用パンフレット(2010年度版)が完成しました!請求方法は以下の通りです。入試要項(願書)も請求いただけます。ぜひお取り寄せください。



キャンパスガイドや
入試要項(願書)のお申し込みは...

テレメールが便利です。
以下に電話し、資料番号等を登録してください。

IP電話番号 **050-2015-0555**

※IP電話への通話ができない場合および話し中の場合は、06-6222-0102へおかけください。

資料番号

「大学キャンパスガイド2010」..... 151891
「短大ガイドブック2010」..... 174150
「過去の入試問題集(1年間分)」..... 157070(短大含む)
「入試要項(願書)」..... 160189(短大479409)
「AO入試要項」..... 610950

●インターネット・携帯電話(<http://telemail.jp>)からも請求できます。



平成22年度入学試験日程決まる!

創価大学

AO入試

| | |
|------------|---------------------|
| 出願期間(郵送のみ) | 平成21年9月7日(月)~11日(金) |
| 第1次選考合格発表日 | 平成21年10月8日(木) |
| 第2次選考日 | 平成21年10月18日(日) |
| 第2次選考合格発表日 | 平成21年10月28日(水) |

※実施学科:経済学科・経営学科・生命情報工学科・環境共生工学科

公募推薦入試

| | |
|------------|----------------------|
| 出願期間(郵送のみ) | 平成21年11月2日(月)~10日(火) |
| 試験日 | 平成21年11月21日(土) |
| 合格発表日 | 平成21年12月2日(水) |

センター試験利用入試・一般入試

| | センター試験利用入試 | 一般入試 |
|------------|---------------------|---|
| 出願期間(郵送のみ) | 平成22年1月4日(月)~15日(金) | 平成22年1月4日(月)~28日(木) |
| 試験日 | 経済学科 | 平成22年1月16日(土)・17日(日) に実施される 大学入試センター試験 を受験してください |
| | 法律学科 | |
| | 教育学科 | |
| | 児童教育学科 | |
| | 経営学科 | |
| | 人間学科 | |
| | 情報システム工学科 | |
| 生命情報工学科 | 平成22年2月13日(土) | |
| 環境共生工学科 | 平成22年2月14日(日) | |
| | 平成22年2月15日(月) | |
| 合格発表日 | 平成22年2月8日(月) | 平成22年2月22日(月) |

創価女子短期大学

公募推薦入試

| | |
|------------|-------------------------|
| 出願期間(郵送のみ) | 平成21年10月28日(水)~11月6日(金) |
| 試験日 | 平成21年11月14日(土) |
| 合格発表日 | 平成21年11月20日(金) |

一般入試

| | |
|------------|---------------------|
| 出願期間(郵送のみ) | 平成22年1月4日(月)~22日(金) |
| 試験日 | 平成22年2月5日(金) |
| 合格発表日 | 平成22年2月12日(金) |

創大ホームページ 丹木の歳時記より Snapshots from Tangi



「文学の池」の睡蓮

構内に咲く紫陽花

編集部からのお知らせ

編集部では読者の皆様の声を募集しております。感想などがありましたら、以下までお寄せください。これからは充実した誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いたします。 ※皆様からいただきました感想などは「読者の声」の欄で紹介させていただく場合があります。 FAX:042-691-9300 E-mail:hiroba@soka.ac.jp



Soka University News 62号

●編集発行/Soka University News 編集委員会 ●発行責任者/田代 康則 ●編集長/藤本 英一

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目236番地 Tel.042(691)2215 Fax.042(691)9300 ホームページ/ <http://www.soka.ac.jp> 2009年7月3日発行